

## ◆ 事務局

### 建築関係技術者のための「監理技術者講習」のご案内について

この度、公益社団法人日本建築士会連合会は、国土交通省から「監理技術者講習」の登録講習機関として登録を受けました。富山県では、本会が協力して建築関係の施工技術者向けに特化した内容で11月から毎月「監理技術者講習」を実施することになりました。

本講習は、建築技術者だけでなく電気・給排水等設備技術者の方にも役立つ実務的な内容のテキストとなっていますので、関係の皆様のお待ちしています。

この講習の概要及び講習申し込み等詳細は、同封の申込み案内又はHPをご覧ください。

### 小規模建築物を対象とした地盤・基礎講習会

住宅等の小規模建築物の地盤調査や基礎設計に関する講習会を実施します。

日時は12月1日(火)午後1時30分からサンシップとやまで、開催します。

※申込み等詳細は、同封の案内チラシ又はHPをご覧ください。

## ◆ 研修委員会

### 法についての勉強会(消防編)

日時:平成27年11月13日(金) 18:30~20:30

会場:サンシップ富山 703号室

富山市安住町5番21号 TEL; 076-432-6141

講師:富山市消防局 予防課 設備係長 若林 謙太郎氏

内容:消防同意及び消防中間検査の留意事項

- ・ 確認申請時及び中間検査時の留意点
- ・ 既存不適格、無窓階の判定基準及び避難経路について
- ・ 今後の消防行政の動向について

\*質疑事項は事前に受付します。(下記申込み先まで送信)

建築CPD:2単位(申請中)(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:先着順30名(どなたでも参加できます。)

参加費:無料

申込先・申込期限:平成27年10月30日までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:info@toyama-kenchikushikai.or.jp)

FAX 076-482-4448)

※氏名・所属・連絡先を明記の上、お申込みください。

問合せ:(公社)富山県建築士会 TEL:076-482-4446

## ◆ 新川支部

新川支部では、兵庫県方面へ2日間の日程で視察研修会を予定しています。どなたでも参加できますので、皆様のご参加をお待ちしています。

日時:平成27年10月25日(日)~10月26日(月) 泊2日

内容・目的:出石城下に散在する名所旧跡を巡り、悠久の歴史と現存する建築物を探訪し研修します。

主な研修予定建物:

- ・ 出石城址~辰鼓楼(出石のシンボル)
- ・ 家老屋敷(江戸後期上級武士の居宅)
- ・ 出石明治館(貴重な木造擬洋風建築)
- ・ 豪商旧邸(旧出石藩ゆかりの資料展示)
- ・ 出石永楽館(明治時代より興業の近畿最古の芝居小屋)
- ・ 宗鏡寺(沢庵和尚再興、歴代城主の菩提寺)

行程:【1日目】7:00 魚津出発~与謝天橋立 IC~但馬・出石市内散策~ゆとうや旅館(温泉寺堂・湯巡り、懇親会・宿泊)

【2日目】天橋立ビューランド(展望台)~対橋楼~智恩寺(参拜)~宮津天橋立 IC~19:00 過ぎに魚津着

定員:先着順15名

参加費:会員30,000円、一般45,000円(昼食・宿泊費含む)

申込:長谷川達三 090-3768-5102(電話にて受付いたします)

申込期限:平成27年10月16日(金)

その他:申込者には、後日、見学会の詳細な案内書を送付。

問合せ:新川支部研修部会 長谷川達三 090-3768-5102

## ◆ 砺波支部

H27年度 連続講座『いまさら聞けないシリーズ』第2回  
「その防蟻(シロアリ)処理は本当に正しいのか!」開催のご案内

日時:平成27年10月9日(金) 18:20~20:30

会場:砺波まなび交流館 2階視聴覚室

砺波市栄町717番地 TEL;(0763)33-1115

内容及び講師:

①「電力料金改定及びこれからの動き」 18:20~18:35

北陸電力パワガササービス となみ野営業所 内島 純子氏

②「その防蟻(シロアリ)処理は本当に正しいのか!」

18:40~20:30 これだけは、知っておいた方がよい!と

いう重要事項を具体的に説明

株式会社 ミガキ 代表取締役 前田 哲宏氏

共催:(一社)富山県建築士事務所協会 福野支部

建築CPD:2単位

定員:先着順40名(どなたでも参加できます。)

参加費:建築士会・事務所協会会員:無料 一般:1,000円

申込先・申込期限:10月7日までメール又はファックスで下記まで(E-mail:aki@k-aki.com FAX 0766-69-8653)

問合せ:(公社)富山県建築士会 砺波支部

(一社)富山県建築士事務所協会 福野支部

担当:加藤(Tel:0766-69-8703)

## ◆ 富山ブロック

県外建築視察~高山の歴史的建造物とまち歩き  
~のご案内

岐阜県飛騨高山の歴史的建造物とまちなみ視察研修会を下記の通りご案内いたします。

観光名所でもある、飛騨高山で、歴史的建物から近代建築物まで、まちなみを見学しながら各所で説明頂く予定です。建築士会員・非会員を問わず、興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

皆様のご参加心よりお待ちしております。

日時:平成27年11月7日(土)～8日(日) 1泊2日

詳細予定:

一日目 9:00 富山出発-11:30 高山着 各自昼食後散策-13:30 吉島家住宅にて、講演と見学(講師による説明)-16:00 ホテルチェックイン 懇親会

二日目 9:00 ホテル出発-高山市内の江戸・明治期の建物見学 -14:00 移動 飛騨の里山通りで散策・見学-17:00 富山着

会場:岐阜県高山市内

講師: 建築家 吉島 忠男氏 (吉島家、江戸・明治期の建物、まちなみ見学地で説明を頂く予定です。)

内容:高山の町屋とまちなみを視察しその特徴や活用の在り方、まちづくりについて学ぶ。

建築 CPD:4 単位の予定 (CPD カードをお持ち下さい。)

定員:先着順 25 名 (どなたでも参加できます。)

参加費:一般 17,000 円 会員:15,000 (別途懇親会・昼食費がかかります。)

申込先・申込期限:平成27年10月23日(金)までにメール又はファックスにて

(E-mail:k.tko@knei.jp FAX 050-3433-5743)

問合せ先:建築士会婦負支部 担当:小澤 (TEL:090-5173-9582)

お申込み書	
お名前  <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 会員	お勤め先
お住まい  市・町・村	電話番号(携帯・勤務先・自宅) — —
E-mail または F A X 番号	
<input type="checkbox"/> 懇親会 (別途費用がかかります) ホテル: <input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 禁煙	

#### ◆ 高岡支部

##### 建築士会全国大会石川大会高岡支部視察研修会のご案内

日時:平成27年10月30日(金) 午前8時20分集合

集合場所:JR 高岡駅瑞龍寺口(南口)バス乗場集合

内容:「シェア金沢について」講演会・施設研修(講師:奥村 俊哉氏 社会福祉法人佛子園施設長)→金澤町家巡遊→全国大会参加→金沢学生のまち市民交流館視察→懇親会→高岡駅解散 ※詳細は高岡支部ブログ参照

<http://toyama-kenchikushikai.or.jp/branches/takaoka/>

建築 CPD:2 単位

定員:先着順 20 名 (どなたでも参加できます。)

参加費:¥12,000-(交通費・登録料・懇親会費含む)昼食費は、

各自負担願います。

申込期限:平成27年10月9日(金)

詳細については、申込確認後追ってご連絡します。

申込先:建築士会高岡支部事務局(大角亮建築研究所内)

TEL:0766-22-9081 FAX:0766-25-7020

e-mail:takaoka-shibu@toyama-kenchikushikai.or.jp

※氏名・支部名・連絡先、会員外の方は所属等明記の上、お申込みください。

#### ◆ 財団法人職業技能振興会

##### 「古民家鑑定士」認定講習・試験開催のご案内

日時:(10月度)平成27年10月7日(火) 13:05~17:40

会場:富山市体育文化センター研修室(富山市友杉 1097)

講師:職業技能振興会委託インストラクター

内容:古民家鑑定士教本(別途購入が必要です 6000 円:6 月発行の改定版)に基づいて古民家に関する全般の講習です。資格取得後は築 50 年以上の古民家鑑定を行い、鑑定結果に基づいて所有者にアドバイス、相談を行います。

建築 CPD:3 単位(受付時に名簿に氏名と CPD 番号をご記入)

定員:20 名 (どなたでも参加できます。)

参加費:23,000 円(受講・受験・認定書発行費用含む)

申込先・申込期限:開催日の 10 日前まで

HP(<http://www.kominkapro.org>)から詳細確認の上申込

問合せ先:(一社)富山県古民家再生協会 担当:片岡

(TEL:0766-69-7550) \*「古民家鑑定士」は民間資格です

#### ◆ 富山県木造住宅生産体制強化推進協議会

##### 富山県住宅省エネルギー技術講習会(国の補助事業)のご案内

開催日・開催場所 (半日講習になりました)

	開催日	会場	定員
施工	11月6日(金)	砺波まなび交流館	60名
	12月12日(土)	ヤマイチ(株)	30名
	H28年1月8日(金)	南陽(株)	60名
	H28年2月6日(土)	ヤマイチ(株)	30名
設計	11月27日(金)	高岡文化ホール	100名
	H28年1月15日(金)	テクノホール	100名

時間:13:00~17:35

詳しくは富山県建築士会のホームページをご覧ください。

#### ◆ 日本建築家協会北陸支部富山地域会

##### JIA 2015 年度 技術セミナー開催のご案内

日時:平成27年11月7日(土)15:00~17:00(14:30~受付開始)

会場:アーバンプレイス 8 階 821 会議室(富山市牛島町 18-7)

講師:長谷川 浩己氏 (有)オンサイト計画設計事務所代表

演題:「建築家と一緒に仕事をする時」

建築 CPD:2 単位の予定(申込み時に CPD 番号をお伝え下さい。)

定員:先着順 50 名

参加費:無料(どなたでも参加できます。)

申込先・問合せ先:水野行偉建築設計事務所 担当:水野

TEL・FAX:0766-56-8512 E-mail:info@miz-hp.com

氏名、連絡先を明記の上、上記までメール又は FAX で申込み

# 建築士の日イベント：銅板レリーフ作り

## 青年委員会



平成 27 年 8 月 23 日（日）に富山市ファミリーパーク自然体験センター内体験学習ホールにて富山県建築組合連合会青年部と合同で体験イベントを開催しました。

青年委員会は昨年同様「銅板レリーフ作り」を、建築組合連合会青年部は「木製イス・本棚作り」を担当しました。

住育普及事業として「人を育む住まい」をテーマに、建築士の活動を社会に PR していきたいと考えています。



参加した子供たちと共同で作業したり、お手伝いしたり楽しく住育を体験しました。ゲーム機やパソコンが当たり前の時代に育つ子供たちに、手で作る楽しさや大切さを実感してもらいました。



参加した家族からは「夏休みの自由研究課題にもなり、有意義な休日を親子で過ごせた。」と満足いただき、良いイベントとなりました。

## 銅板レリーフ作りの様子

板金工業組合・建築組合の青年部の皆さんと一緒に、子供たちにもものづくりの大切さ、楽しさを伝えることができました。大人から、子供まで、選んだキャラクターがよりリアルになるよう凹凸感を出すことにこだわって、熱中して作っていました。

**参加人数**  
約 200 名



### 他組合様からのご協力

富山県板金工業組合様にも材料準備から銅板加工作業までご協力いただきました。



### 達成感たっぷりの笑顔！！

初めてで難しくとも最初から自分の手で作る。そんな手作りの充実感が体感できました。



### 青年建築志の笑顔

小澤委員長に岡崎さん、野村さん、他約 10 名の青年建築士が参加しました。

## 異業種が開催する参加型体験イベントを通じてものづくりの大切さを広めたい。

今年も多くの参加者でにぎわい、「ものをつくる」ということの素晴らしさを体験してもらいました。一昔前ならば父親から教わる事も多かったのですが、最近では教える家族がいない家庭も増えています。そんな中での親子参加型の当イベントは非常に充実していました。また、他業種である大工さん、板金工さん、そしてわれわれ建築士がチカラを合わせて開催したからこそ生まれる絆もあり、今後の業界を担う意気込みが感じられる素晴らしいイベントとなりました。

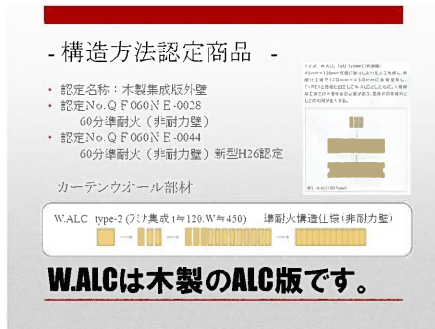
| 青年委員会・富山支部 | 徳舩 一博 |

# 「木造化推進と新たな構造部材」2015 / 第2回 高岡支部

平成27年8月29日(土) 高岡市能町の南陽デザインスタジオ高岡にて「木造化推進と新たな構造部材」2015 セミナーの第2回目を開催しました。参加者は25名でした。講師の協和木材(株)の松浦副部長は、設計・現場管理を経験されて、木材会社へ入社されました。

今回のセミナーテーマは「Wood ALC」。第1回セミナーでは主に木材の使用用途について考えるテーマでしたが、今回と第3回は具体的に木質化するための実施案です。

まずは、6月の建築基準法改正で木造の1時間準耐火が大規模建築物でも使いやすくなったというお話から始まり、そこで登場する「Wood ALC」は、国産材を使った120x450サイズの集成材がベースとなっていますが、実は1時間準耐火の認定を受け、躯体が木造でないS造やRC造であっても国産材を使用できるというもの。今までの軽量気泡コンクリートと同じように「帳壁」として使うだけなので使い方は変わりません。しかし木材ならではの「木をあらわし・木を見せる」という



**W.ALCは木製のALC版です。**

表現ができるというのは新たな方法となるかもしれません。



仮設図書館として建築された木造物件。CLT 的な直線と面を強調しています。(写真左)



こちらは鉄骨躯体に取り付けた W.ALC を意匠にも反映させた物件です。(写真左)

徐々にですが、設計者が木を使える環境が整いつつあります。CLT がまだ自由でない現在、設計者の積極的な働きかけ次第で国産材の使用率を上げることはまだまだ可能と感じました。

## セミナー参加者の様子 (質疑応答より)

Q: Wood ALC に使う杉材に産地指定はありますか? A: 産地指定なし。含水率・比重等の条件次第で富山県産材でも OK。

Q: Wood ALC に使える木材は? A: スギ、カラマツ、ヒノキ、ベイマツ、オウシュウアカマツ、アカマツ、ホワイトウッドの樹種



### ハイブリッド木質化

ALC板のロッキング構法と考え方は同じなので ALC板と同じように設計できます。



### 会場の様子

CLT に似ていますが、CLT じゃありません。木をあらわしにできる物件の説明中。



### 木質の帳壁・外壁材と考えると?

構造は S 造でもこんな意匠にできるかも・ (KLH 社の資料より: 物件は CLT)

## イメージが大切なの! ?

「木」という素材がまだ「線材(柱+梁)と造作」という狭い範囲で捉えられているなど感じています。今後登場するであろう CLT にしても「木」を「面」で使う・(集成であっても)「面」で見せるという考え方が必要になってきます。国産材・県産材を有効に利用するにも、まずは建築士の認識が重要で、本来は現場見学会等が良かったか?と若干反省。 | 高岡支部・まちづくり委員会 | 巻瀧 忍 |